

**IMAGINE
THE
FUTURE.**

**国立大学法人筑波大学
令和4年度職員採用案内**







国立大学法人筑波大学長 永田 恭介



我々はこれまでの単純な延長線上に未来が描けない VUCA と呼ばれる時代にいます。グローバル化した社会は激動し、その中では数多くの地球規模課題が発生しています。そうした現在であることを、まさに新型コロナウイルス感染症は我々に知らしめています。一方、人に健康と幸福をもたらす「超スマート社会」を目指して、それらを我が国では Society5.0 と銘打ち、デジタルトランスフォーメーションが進んでいます。研究学園都市で新構想大学として出発した筑波大学は、先端的な研究教育を展開して、知の国際連携活動拠点としてはもとより、人材育成拠点として、また産官学協働の拠点として発展してきました。その中で本学は、あらゆる面で「開かれた大学」という建学の理念のもと、従来の観念に捉われない「柔軟な教育研究組織」と次代の求める「新しい大学の仕組み」を率先して実現するために、「不断の改革」を進めてきました。

新型コロナウイルス感染症が表象する現代社会において、我々は目指す大学像を新構想大学から未来構想大学と変え、我が国の大学改革を先導する責任を自覚しています。本学に根ざす人材育成マインドは「師魂理才」と表現されています。師魂理才とは、親や先生のように接する心や人々をまとめる力を持ち、かつ合理的に問題解決を行うことのできる能力を持つことを意味しています。本学のミッションは、師魂理才をもって地球規模課題の解決と未来地球社会の創造に向けた知を創出するとともに、それを牽引するグローバル人材を育成することと考えています。本学は *IMAGINE THE FUTURE.* という言葉に託した未来への想像力を発揮して、創造的であり、個性的であり、国際性豊かな知の拠点としてリーダーシップを発揮し、国際的に存在感のある大学として積極的に発言し、国際社会に貢献していきます。

本学では働き方についても改革を進めています。特に教職協働を推進し、職員がより能動的に研究と教育のマネジメントに参加することで、大学の組織力の向上を目指しています。私たちはこうした活力ある未来志向の大学を支える一員であるとの誇りを強く持ち、共に組織全体を支え合い協力し合える仲間を必要としています。本学は本年度から指定国立大学法人として活動をはじめ、またスーパーシティに選ばれたつくば市の頭脳として *DESIGN THE FUTURE* を実現したいと考えています。法人職員として働くことに意欲を燃やし、高い志や使命感に溢れた方々と働けることを楽しみにしています。

私たちと共に、明日へ向かって歩んでいきませんか？

建学の理念

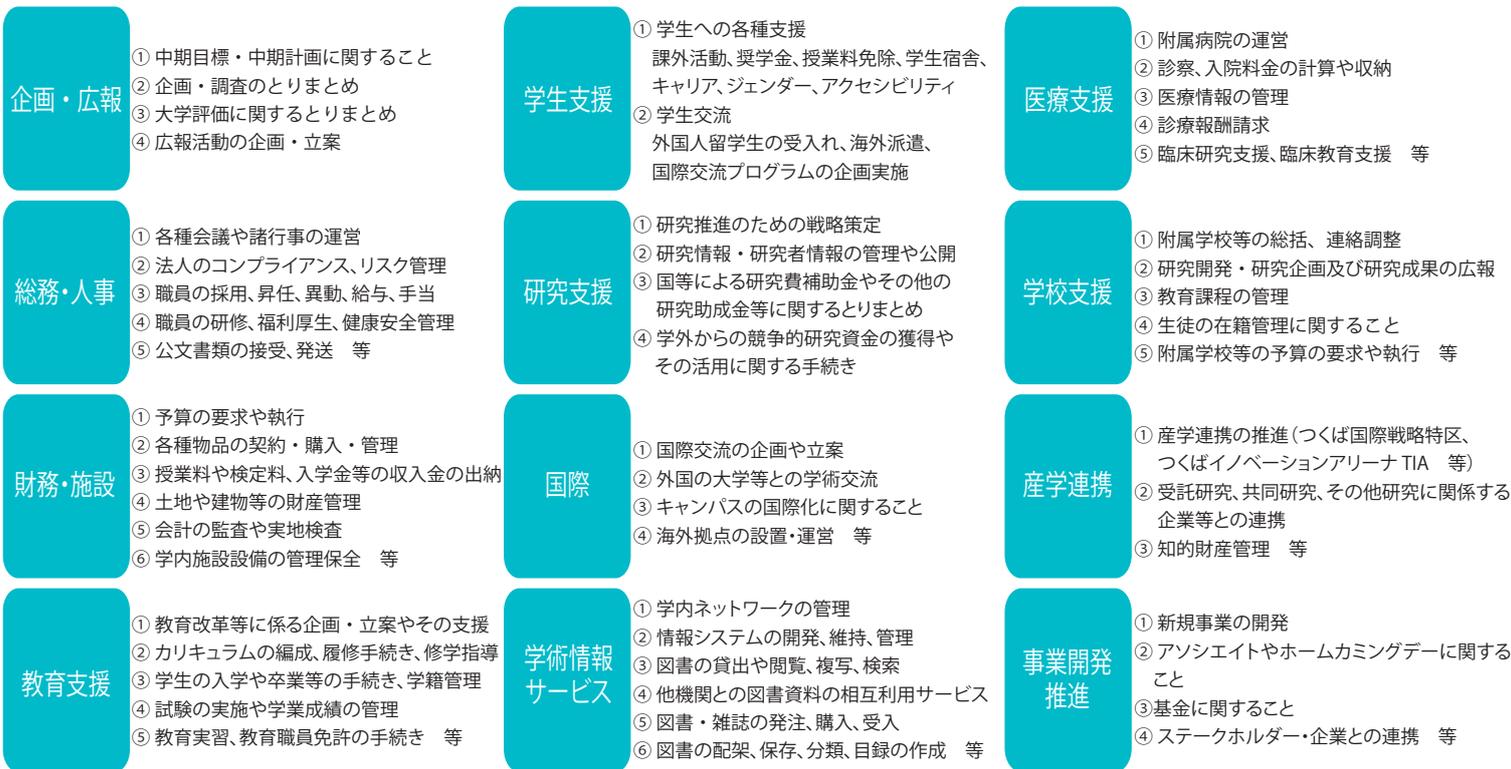
筑波大学は、基礎及び応用諸科学について、国内外の教育・研究機関及び社会との自由、かつ、緊密なる交流関係を深め、学際的な協力の実をあげながら、教育・研究を行い、もって創造的な知性と豊かな人間性を備えた人材を育成するとともに、学術文化の進展に寄与することを目的とする。

従来の大学は、ややもすれば狭い専門領域に閉じこもり、教育・研究の両面にわたって停滞し、固定化を招き、現実の社会からも遊離しがちであった。本学は、この点を反省し、あらゆる意味において、国内的にも国際的にも開かれた大学であることをその基本的性格とする。

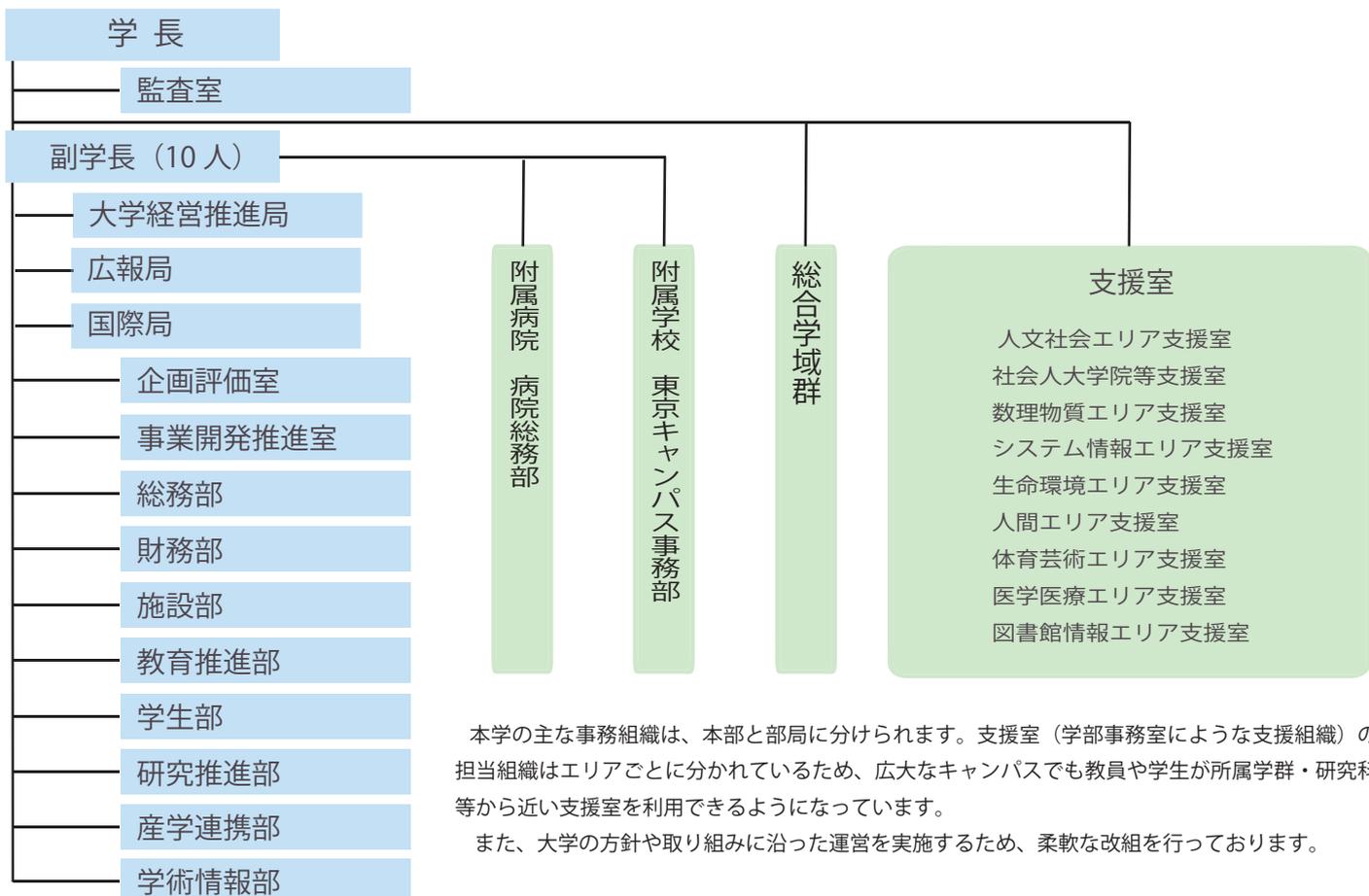
そのために本学は、変動する現代社会に不断に対応しつつ、国際性豊かにして、かつ、多様性と柔軟性を持った新しい教育・研究の機能及び運営の組織を開発する。更に、これらの諸活動を実施する責任ある管理体制を確立する。

業務内容

事務職員の業務は、教育支援や学生支援だけでなく、総務、財務、国際、研究支援、学術情報サービスなど多岐に渡っています。また、入学試験、入学式や卒業式の運営など、大学ならではの業務に携わることもできます。さらに、筑波大学には附属病院や附属学校もあり、事務職員の活躍の場は大学の上に留まりません。



主な事務組織





施設・財務

施設部施設企画課
かねこ さき
金子 沙樹
一般職員 令和3年4月採用

現在担当している業務について教えてください

施設企画課（工事・経理）に所属し、大学の建物の新営工事や改修工事、ライフラインの保守や保全の契約・支払に関わる業務を行っています。技術職員からの情報をもとに、工事を行うことを公表して参加を募り、入札等を実施して契約相手を決定します。そして契約の担当をした工事が終了した際には、大学の会計ルールに則り支払いを行います。工事等の知識がない中で初めは苦労しましたが、周りの方に伺ったり法律や規則を確認しながら日々勉強し、適切に手続きをしています。

筑波大学を志望した動機についてお聞かせください

学生として過ごす中で、筑波大学やつくばという土地が気に入ったからです。筑波大学は体育や芸術を含む総合大学であり、かつ全国から人が集まるため、様々な分野、背景の人がいます。職員となれば、学生だけでなく色々な分野の先生や学外の方と関わり、自分の知見を広げて刺激を受けながら働くことができると思い志望しました。また、筑波大学の位置する筑波研究学園都市が日本最大の研究開発拠点であるだけでなく、緑豊かで快適に過ごしやすい土地であることも魅力だと思いました。



入職後に感じたギャップがあれば教えてください

一点目は、学生と全く関わらない部署も多く存在するという事です。入職前は支援室で働く職員として学生と関わる姿をイメージしておりましたが、現在の部署では職員や業者の方と関わる事が大半を占めています。もう一点入職して驚いたことは、大学の財政規模が大きく、1000万円程度の工事中でも金額的に決して大きくないとされていたことです。特に施設工事は1件当たりの金額が大きいため、自分の金銭感覚との差が大きく、慣れるまでに時間がかかりました。業務内容も部署によって様々で、他部署の同期と話をすると新たな気付きがあることも面白いと思っています。



広報

広報局
にしむら のりこ
西村 法子
一般職員 令和2年4月採用

現在担当している業務について教えてください

報道関係者からの取材依頼や問い合わせへの対応、記者会見の運営、プレスリリースの作成等の報道関連業務から、大学概要等の刊行物の作成、学内の風景や行事の撮影・発信まで、幅広い業務を担っています。広報局員は、言わば「大学の情報調理人」です。適切かつ効果的な情報発信のため、世の中のニュースやトレンドの捕捉と同時に、学内の各部署からの継続的な情報収集が不可欠です。世間との繋がりが極めて強く、組織としての姿勢が問われる責任の大きな仕事ですが、本学のプレゼンス向上を目指して日々業務に取り組んでいます。

筑波大学を志望した動機について教えてください

学生時代に教育支援のあり方について学ぶ中で、多様なバックグラウンドを持った人々が集い協働する高等教育機関の社会的意義の大きさを再認識しました。各人が自らの強みや可能性を模索・発揮する、生き生きとした場としての大学で、その原動力を生む土台作りに携わりたいと考えました。特に、筑波研究学園都市で学び育った身として、地域の核である筑波大学の教育研究活動を支えたいという思いを抱きました。



将来どのような大学職員になりたいかお聞かせください

大学に求められるものは、社会からの要請により時々刻々と変化します。学生生活を例にとっても、まだ記憶に新しい自らの経験や当時のノウハウさえ、早くも通用しなくなりつつあることに驚かされます。国立大学法人として、法令の制約を受ける部分もありますが、既存の業務を柔軟な思考で進化させ、新たな仕組みを作っていく姿勢を常に持ち続けたいです。教育機関の運営を担う広義の「教育者」の一人として、海外拠点や附属学校を含めたさまざまな環境に身を置きながら人々のライフキャリアの形成を支援し、社会の活性化に貢献したいです。



総務

生命環境エリア支援室（総務）

いのり なつこ
禰 夏子

一般職員 平成 29 年 4 月採用

現在担当している業務について教えてください

生命環境エリア支援室で総務を担当しており、支援室に所属する非常勤職員等の任用手続きや勤務時間の管理、生命環境系運営委員会の運営など、教職員と関わるものが主な業務です。教職員の求めていることを汲み取り、相手の業務の行いやすさを考えて行動するよう心がけています。また、総務担当は学外の方や教職員からの担当が分からない問い合わせの窓口になることがあるため、総務担当以外の業務を広く認識していることが必要です。日頃から支援室内の他担当等とコミュニケーションをとり、案内しやすい雰囲気をつくることを心がけています。

筑波大学の魅力についてお聞かせください

本学は、国立の総合大学としては珍しく、体育や芸術の研究分野があり、広い分野の研究が行われていることが特徴的です。さらに「開かれた大学」を理念として国際化を掲げており、多くの留学生や多国籍の教職員が所属しています。こうした広い研究分野、様々な国籍、文化の学生や教職員がいる中で業務を行うことで、知見や視野を広げ自分自身の成長にも繋げることができるところが魅力だと感じています。



業務後や休日はどのように過ごしていますか

休日は家でゆったり映画を観るなど、家で充実した時間を過ごすことが多いです。また、業務外の時間には緑に囲まれた筑波大学の中を散歩することもあり、四季折々の風景を楽しむことができます。新型コロナウイルスが蔓延する前は、教職員の有志で行っているテニスやバドミントン、ゴルフなどに参加して身体を動かすこともありました。教職員のサークルは様々なものがありますので、興味があれば参加すると健康的な休日を過ごすことができ、さらに親睦を深めることができると思います。



学校支援

東京キャンパス事務部企画推進課

さいとう たかひろ
齋藤 貴大

一般職員 平成 27 年 4 月採用

現在担当している業務について教えてください

附属学校の国際教育に関する業務を主に担当しています。具体的には、附属学校が実施する国際教育の取組に関する学内の連絡調整や、文部科学省へ提出する書類の取りまとめなどを行っています。また、本学と同様に国際教育の取組を行っている高等学校・教育委員会等を対象に、教職員が国際教育の取組事例を発表する連絡協議会や、全国の高校生が学校で取り組んだ課題の成果発表・生徒間交流を行うフォーラムを文部科学省と共催して企画・運営しています。企画・運営にあたっては、学内の教職員や文部科学省と連携して業務を進めています。

東京キャンパス事務部で働く魅力・やりがいについてお聞かせください

東京キャンパス事務部は附属学校教育局（自治体等における教育委員会のような役割）の事務組織として附属学校 11 校の総括・連絡調整や幼児、児童、生徒及び保護者を支援する業務などを行っており、業務を通じて、附属学校が取り組んでいる先導的教育や日本における教育制度・教育政策を深く知ることができます。また、東京という土地柄、業務終了後に買い物や気になる飲食店に行きやすいことも魅力だと思います。



文部科学省での研修経験についてお聞かせください

文部科学省で 1 年間の実務研修を経験しました。前期は高等学校に関する業務、後期は外国人留学生に関する業務に従事しました。1 つ 1 つの仕事の規模が大きく、迅速かつ確かな対応が求められる環境で苦労することもありましたが、教育の在り方を検討する会議の運営補助や、視察に同行し多くの学校現場を訪問したことは現在の業務に活かされています。また、教育研究機関の施設見学会への参加や全国の大学職員と交流する機会があったことも良い経験になりました。

業務紹介 主任～主幹



教育支援

教育推進部教育機構支援課

やぎ ゆうき
八木 悠気

主任 令和2年4月採用

現在担当している業務について教えてください

主に教学デザイン室の事務担当をしています。教学デザイン室とは、本学の教育に関する将来構想を検討し、計画を立案する組織で、現在は主に本学の指定国立大学法人構想にも掲げられている「チュートリアル教育」の導入に向けた調査・検討を行っています。事務担当と聞くと地味な印象を受けるかもしれませんが、構想実現に向けた課題を洗い出し、必要な文献を読み込んで分かりやすくまとめ、室員の円滑な議論を支えつつ、時には解決策を提案するという、夢の実現に向けた階段を一段ずつ作っていくような、非常にやりがいのある仕事です。

日頃心がけていることややりがいについてお聞かせください

仕事を進めるうえでは「守破離」という言葉を心がけています。「まず型を身につけ、その後で自分なりに改善していく」という意味だと思いますが、私は民間企業で10年働いてから職員になりましたので、まず大学の仕事の進め方と文化を理解し、それができるようになったうえで、民間経験を活かした業務改善に取り組みたいと考えています。そうやって実行した改善に対して感謝の言葉をいただいた時にはやりがいを感じます。



今後どのような業務に従事したいかお聞かせください

現在携わっているチュートリアル教育の導入は、本学の学士課程教育全体に関わる新しい試みであり、やりがいを感じているので、ある程度の規模で実施できる段階までは携わりたいと考えています。その後はまだ具体的ではないですが、本学だからこそできるような高等教育の最先端を行く取組に挑戦し続け、そうした取組をしっかりと学生・教員双方に対して、そして社会・世界に対しても新たな価値を生み出し続けるものにできるよう、努力していきたいと考えています。



研究支援

図書館情報エリア支援室(研究支援)

ましま さとこ
真島 悟子

係長 平成23年4月採用

現在担当している業務について教えてください

教員組織である系に所属する先生方の研究を支えることが研究支援担当の業務です。科学研究費補助事業(科研費)を筆頭としたいわゆる外部資金に関する業務が主たるもので、獲得するための申請手続き、獲得した資金の使用に関する相談、使用状況の報告、寄付金の受入などがあります。他に、研究を行う上で必要な研究倫理審査の事務手続き、リサーチアシスタントの委嘱、外国から来日する研究員の受入、講演を行う方への旅費や謝金の支払いなど、研究活動に関して必要となる様々な事務を行っています。

最も印象に残っている業務についてお聞かせください

以前所属していた部署では、共同研究推進のために、先生方がご自身の研究を紹介する研究発表会を開催されており、事務としてそのお手伝いをしていたのですが、その際に先生が行われている多彩な研究の一端に触れたことです。業務で携わるのは研究の断片的なごく一部であり、研究全体に考えが及ぶことは少ないのですが、まとまった内容をお聞きする貴重な機会をいただいて、色々な研究が行われていることを実感しました。



日頃心がけていることややりがいについてお聞かせください

担当している業務について質問された際にきちんと答えられるよう、関係する情報を収集し、根拠と理由を考え、記録しておくよう心がけています。こうした積み重ねが、一筋縄ではいかない事例に対応するときに役立ちます。研究支援の仕事は、研究が円滑に行われる環境を維持するために、日々できるかぎりミスなく作業を重ねていくことが肝要ですが、申請のお手伝いをした先生が外部資金を獲得されたときはやはり嬉しいものです。



学生支援
 学生部学生交流課
 にしじま ゆうさく
西島 悠策
 係長 平成 23 年 10 月採用

現在担当している業務について教えてください

留学生の皆さんの受入れに関する業務を行っています。筑波大学では毎年、世界各国からの留学生を数多く受け入れており、課内全体では様々な種別の留学生を支援していますが、私はそのうち国費留学生の方々の申請手続きや渡日に関するサポートをメインで担当しています。留学生との直接のやりとりはもとより、関係教職員の皆さんとの連絡調整や、文部科学省への書類提出など、受入れ実現までには綿密な準備が必要となります。日本への留学を心待ちにしている皆さんを温かく迎え入れられるよう、日々尽力しています。

最も印象に残っている業務についてお聞かせください

ドイツ・ボンにある本学海外拠点において、駐在員として 3 年間勤務した際の業務がとても印象に残っています。本学と海外の大学との学術交流を推進した活動が、大学を飛び越えて都市間交流にまで繋がるなど、社会において大学が果たす役割の大きさを感ずる機会が多く、とても刺激になりました。こうしたユニークなキャリアパスを歩めることも、本学で働く上での魅力の一つだと思います。



大学職員を目指す方へのメッセージをお願いいたします

今や大学には、社会を支えるあらゆる役割を担うことが求められています。教育・研究はもちろんのこと、それらを通じた社会課題解決やイノベーション創出、地域貢献に国際連携。全てが大学のミッションです。当然、大学職員に求められる資質や経験も多種多様です。大学で働くことに興味がありましたら、自分に向いているか、などとはあまり考えずに、自分の個性を活かしてどのように大学・社会に貢献できるかを是非考えてみてください。広いキャンパスの中に、あなたにぴったりの仕事があると思います。



総務
 医学医療エリア支援室（総務）
 みうら かおり
三浦 香織
 主幹 平成 4 年 4 月採用

現在担当している業務について教えてください

医学医療エリア支援室に所属し、総務担当として、主に「企画・広報」、「総務・人事」関連の業務を行っています。支援室は、部局の事務組織の位置付けで、医学医療エリアに所属する教職員の事務支援を行っています。具体的には、医学医療系内における会議の企画・運営、大学教員の活動を評価する大学教員業績評価の事務支援を行っています。また、教職員からの相談への対応を行うことがあるので、日頃から大学の方針や規則等について、情報収集・把握することを心がけ業務にあたるようにしています。

筑波大学の魅力についてお聞かせください

筑波大学は、医学、体育、芸術を有する総合大学として、自然豊かな環境の中に、多くの学生・教職員が集っています。常に問題意識を持ち、課題を見つけ、新しいことを取り入れ、変化・改革し続けている大学です。また、高度な先端医療を提供する大学附属病院や東京地区等に普通学校 6 校と特別支援学校 5 校の 11 校の附属学校を持ち、教育・研究・社会に貢献する役割を意識し、働き続けることが出来る職場です。



新人職員に求められる資質・姿勢は何でしょうか

大学の業務は多岐にわたるため、最初は戸惑うことも多いと思いますが、臆せず、チャレンジしてみることでないかと思います。また、分からない時は 1 人で抱えず、質問できる素直さも必要だと思っています。そして、各部署と連携・調整をしながら業務を進めることも多いため、コミュニケーション力も求められます。常にコミュニケーション力の向上に努めていただきたいと思います。

業務紹介 課長～部長



教育

教育推進部入試課
おの けんいち
小野 健一
課長 平成2年4月採用

入職当手を振り返って思い出などありましたらお聞かせください

平成2年4月に採用された当時のことを振り返ると、東京へのアクセスが非常に悪かったことを思い出します。最初に配属された部署は学生の就職を支援をする部署で、企業訪問のために東京へ出張することもよくありました。つくばエクスプレス（TX）がまだ開通していなかったため、目当ての企業に到着するまで3時間位かかる場合もありました。そのため、複数の会社を訪問出来るように工夫をして計画を立てて出張していました。現在では、TXの開通により東京キャンパスに通勤している人もいるように、大きく改善されています。

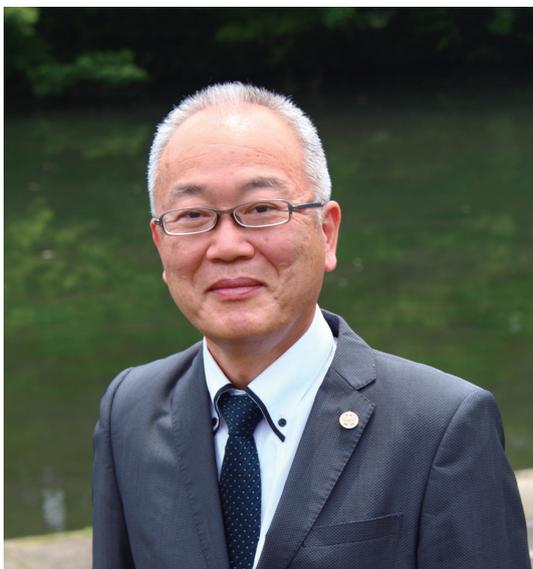
大学職員を目指す方へのメッセージ

大学職員の業務は多岐多様です。私が今までに関わってきた業務も、学生支援（経済支援、就職支援）、人事、総務、入試と様々です。また、業務によって相手や立場が変わります。業務相手は、学生はもちろんですが、教職員、企業の人事担当者、OB・OG、受験希望者等と業務によって様々です。立場については1つ例を挙げると、人事では学生等を採用する立場、就職支援では学生を採用してもらう立場であり、正反対になることもあります。

これらの業務に関わるうえで私が今まで考えてきたことは柔軟性です。ルールや自身の主張などに固執し過ぎることなく、その場の状況や変化に応じて適切な判断をし、行動することです。業務を行ううえでは様々な問題にぶつかります。問題に対して、最初から解決出来ないと決めつけず、どうすればその問題を解決することが出来るのかを考えるようにしています。また、考えるうえで他者の意見を聞くことも大事にしています。筑波大学を更に良くするために、是非皆さんの意見を聴かせてください。一緒に考えていきましょう。



るのかを考えるようにしています。また、考えるうえで他者の意見を聞くことも大事にしています。筑波大学を更に良くするために、是非皆さんの意見を聴かせてください。一緒に考えていきましょう。



学生支援

学生部
せき みずほ
関 瑞穂
部長 昭和56年4月採用

筑波大学今昔物語をお聞かせください

私が就職したのは昭和の時代。パソコンはもちろんの事、ワープロさえもない時代で、議事要旨は清書のために和文タイプライター（信じられないと思いますが、漢字も打てるのです！）を使っていました。数年後、部に1台のワープロが配置され、8インチ（約20cm）というバカでかいが容量が少ないフロッピーディスクを皆で共有して使っていました。ワープロはその後進化しましたが、それでも「作成限界」というメッセージがでて作成途中の文書が保存できないこともありました。平成10年前後にノートパソコンが1人1台配備され、ワード、エクセル、アクセス、パワーポイントなどを使うようになり、最近ではオンライン会議や様々なシステムにも対応が必要となりました。機器が進化すると仕事の効率は上がりますが、進化する機器の性能についていく必要があり、求められる仕事の質も高くなってきました。

新人職員に求められる資質・姿勢は何でしょうか

ネットワークの進化もあり、オンライン会議も手軽に行うことができるため、直接会って話すことが少なくなりました。仕事は「人と人」とよく言われます。直接会って話をすることで顔を覚えてもらう。それがきっと次の仕事に役立ちます。また、仕事をするうえでは疑問を持って取り組んでほしいです。前からやっているからというのではなく、何のために行うのか、もっと効率的な方法はないか常に考えて取り組むことが必要です。



「ふしぎだと思うこと これが科学の芽です よく観察してたしかめ そして考えること これが科学の茎です そうして最後になぞがとける これが科学の花です」（朝永振一郎博士・本学前身の東京教育大学長）は、仕事をするうえでも通じるものがあると思っています。

人材育成・キャリアパス・能力開発

◇人材育成

急激に変化する社会環境と、高度多様化する業務に的確に対応しながら本学に求められるミッションを達成していくためには、職員の資質の一層の向上を図り、職員一人ひとりが能力を最大限発揮することが重要です。

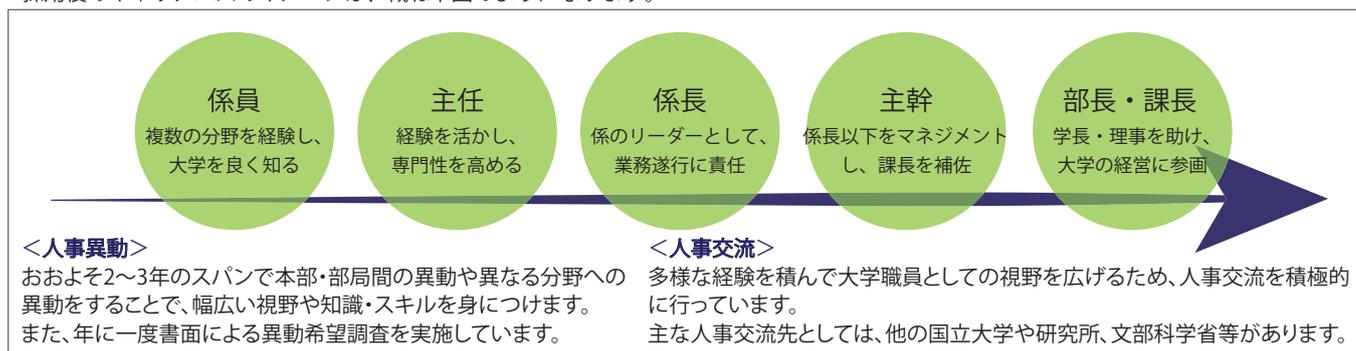
本学では長期的かつ総合的な観点から職員の能力開発を効率的に図るため、本学の目指す職員像を明確にし、職員の人材育成に取り組んでいます。

本学の目指す職員像

- ① 当事者意識と責任感のある職員
- ② コスト意識を持ち迅速な行動ができる職員
- ③ 課題解決および論理的思考ができる職員
- ④ 行動力がある職員
- ⑤ コミュニケーション力がある職員
- ⑥ ICT(情報通信技術)の活用による業務改善を推進できる職員
- ⑦ 国際性を有する職員

◇キャリアパス

採用後のキャリアパスのイメージは、概ね下図のようになります。



◇能力開発(研修・自己啓発)

本学は、職員一人ひとりが求められる責任や能力に対して、自ら考え必要とする能力を習得するため、OJT(On the Job Training) や Off-JT (Off the Job Training) による能力開発の機会を提供するとともに、自ら進んで能力の向上に資する意識を醸成するため、SSD (Self-Staff Development) への取り組みを推進・支援します。

特に、採用からの3年間を人材育成重点期間とし、職員の能力開発に取り組んでいます。また、その後も一般職員から管理職まで、在職期間に応じた能力開発を提供し、求められる責任や能力に対して常に最大のパフォーマンスを発揮できるように能力開発の充実を図っています。

<人材育成重点期間研修>

- ・基礎研修(学長講話、業務内容説明、メンタルヘルス、事務用情報システム等)
- ・ビジネス・コミュニケーション研修
- ・ロジカルシンキング研修
- ・クリティカルシンキング研修
- ・フォローアップ研修
- ・ステップアップ研修
- ・学内教育研修施設見学実習
- ・特別支援学校見学研修



<その他の研修>

- ・階層別研修(主任、係長、主幹、課長昇任時研修等)
- ・情報化研修(Excel、Access等)
- ・中核人材育成研修
- ・OJTリーダー研修
- ・評価者研修

<国際性の日常化>

日本人、外国人を問わず、学生と教職員が世界の一員であることを日常的に実感することが出来る「国際性の日常化」を目指すために本学では、32歳までの職員を「語学力強化育成期間職員」とし、また、40歳までの職員を「準ずる職員」として位置づけ、語学力向上に有効な研修の受講を推進しています。

職員の語学力及びグローバル・リテラシーの向上を奨励するために以下の研修が設けられています。

- ・スキル別英語研修(「初級」「中級」「上級」(ビジネス英語クラス含む))
- ・留学生と職員の英会話パートナー研修
- ・TOEIC対策講座
- ・SDセミナー/英語セミナー
- ・海外短期派遣研修
- ・国際業務研修

<能力開発支援プログラム>

職員の知識や能力の習得を促進するとともに職員の主体的な能力開発に対する意欲の向上を目的とし、資格等取得(TOEIC等)、社会人大学院入学等の経費を支援する制度があります。

<海外研修>

文部科学省および日本学術振興会による国立大学法人等の事務系職員を対象とした、海外研修への参加の機会もあります。研修を通して国際交流に関する幅広い知見と高度な実務能力を有する職員の養成を図り、大学における国際交流事務の充実に資することを目指しています。

勤務条件・福利厚生

◇勤務条件

<給与>

筑波地区 210,400 円～ (月額)

東京地区 218,000 円～ (月額)

※職歴等を考慮し決定。

<諸手当>

一定の条件を満たす場合は、次の手当が支給されます。
(扶養手当、住居手当、通勤手当、期末手当、勤勉手当、
時間外勤務手当 等)

<勤務地>

筑波地区が中心になりますが、東京地区や各附属学校、
共同研究施設等の勤務もあります。

<勤務時間>

8時30分～17時15分 (休憩時間 60 分間)

※勤務場所によっては、上記と異なる場合があります。

<休日休暇>

・休日 土日、祝日、年末年始

・休暇

年次休暇

(1年につき20日間付与、4月に新規採用の場合は15日間付与)

病気休暇 (病気等により療養が必要な場合)

特別休暇 (夏季、結婚、出産、忌引、ボランティア等の場合)

夏季一斉休業等 (お盆時期の1週間程度)

産前産後休業 (出産前後の8週間ずつ取得可能)

育児休業 (子供が3歳になるまで取得可能)

その他介護休暇等

※勤務場所によっては、上記と異なる場合があります。

◇福利厚生

<文部科学省共済組合>

社会保険 (年金・健康保険) にあたる保険が完備されています。

給付 (病気、けが、出産等)、積立貯金、貸付などを受けられます。

その他、宿泊施設や保養施設等の利用もできます。

<宿舎>

つくば地区には世帯用の宿舎が、東京地区には単身用、世帯用宿舎が
あります。

<保育所>

筑波キャンパスの敷地内に、教職員専用の保育所が設置されています。

<健康管理>

筑波キャンパスに保健管理センターが設置されており、健康相談等
を行っています。

<学内施設>

筑波キャンパスには中央図書館と3つの専門図書館があり、職員も
利用可能です。また、テニスコートやグラウンド、体育館や屋内プ
ール等の各種スポーツ施設を利用することができます。

その他、食堂、喫茶、書店などの厚生施設も充実しています。



本学におけるダイバーシティ

筑波大学は、性別、国籍、年齢及び障がいの有無にかかわらず人間の可能性と多様性を尊重し、ダイバーシティ文化の醸成に努めるとともに、すべての職員が働くことに誇りと喜びを実感できる大学作りを努めております。2018年10月に設置した、ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンターにて、障害学生支援・学生等のキャリア支援・LGBTQ等支援・ライフイベントと仕事の両立支援等を行っており、学内におけるダイバーシティの取組を推進しています。

また、本学は「子育てサポート企業」としてくるみんマークを取得しており、仕事と子育ての両立を積極的に支援するとともに、任意団体 work with PRIDE が策定した職場でのLGBTQ等に関する取組評価指標「PRIDE指標」において、最高レベルのGOLDを国立大学で初めて受賞し、2021年までに4度受賞するなど、多様な人材が活躍できる環境作りに努めております。



認定マーク「くるみん」

work with Pride



指定国立大学法人の指定

本学は、第4期中期目標期間（令和4～9年度）における指定国立大学法人の指定を受けています。指定国立大学法人とは、文部科学大臣が世界最高水準の教育研究活動の展開が相当程度見込まれる国立大学法人を指定するものであり、指定を受けた大学は、国際的な競争環境の中で世界の有力大学と伍していくことが期待されています。また、そのための規制緩和として、大学発ベンチャー（大学の研究成果を活用して商品等の開発・提供を行う事業者）への出資が可能となるなどの特例が認められています。

指定国立大学法人筑波大学の目指す大学像

各々の学問分野の強化や分野横断的な協働の推進に留まらず、新たな学問分野を創成することで、地球規模課題を解決する「真の総合大学」へ発展することを目指しています。また、そのために「Beyond the borders.」をスローガンに掲げ、指定国立大学法人としてのガバナンスと財務基盤の強化とともに、①学問分野の壁を超える研究力強化、②国境や組織の壁を超える人材育成、③地球規模課題の解決に資する研究成果の社会実装の3つの戦略を達成するための取組を進めています。



地球規模課題を解決する

「真の総合大学」へ

Beyond the Borders.

新たな学問分野の創成

分野横断的な協働を推進

各々の学問分野を強化

スーパーグローバル大学

本学は、文部科学省の「スーパーグローバル大学創成支援事業」に採択されており、世界トップレベルの大学との交流・連携により国際競争力を加速するための取組を推進し、国際化を徹底して進めています。

SGU 構想の鍵となる Campus-in-Campus (CiC) では、CiC 協定を締結した海外のパートナー大学との間でキャンパス機能を共有し、国境や機関の壁を越えた教育研究交流を実現する取組が着々と進められています。

本学のSGU事業が目指すもの

モビリティを飛躍的に高め、すべての学生・教員・職員に国境や機関の壁を越えた武者修行をさせたい。



国境や機関の壁を越えて、世界中の資源を積極的に活用した教育研究を実施したい。



教員と職員の共同により事業を展開

例えば、教員と職員と一緒に CiC 協定校へ海外出張し、学生の派遣・受入れプログラムの実施のため企画・立案を行います。

世界トップレベルを目指す大学を支える事務職員の育成

CiC 協定校と共同で職員の実務研修を行います。CiC 協定校へ1週間程度滞在し、先進的な取組事例や教育システムを学ぶとともに、職員相互の理解を深め、国際化に対応する職員の資質を高めています。

現在、CiC 協定校は10校（国立台湾大学、ボルドー大学（フランス）、カリフォルニア大学アーバイン校（米国）、サンパウロ大学（ブラジル）、マレーシア工科大学、ユトレヒト大学（オランダ）、グルノーブル・アルプ大学（フランス）、オハイオ州立大学（米国）、ボーフム大学（ドイツ）、アラファラビ・カザフ国立大学（カザフスタン））であり、13校を目指して新たな CiC 協定校の開拓を行っています。

海外拠点

筑波大学の教育研究活動等における国際連携を推進するため、海外拠点を13箇所設置しています。海外拠点の各オフィスでは、本学の国際戦略に基づき、各地域における学術交流の推進、学生交流の支援、優秀な留学生の確保、同窓会ネットワークの構築支援などの業務を行っています。

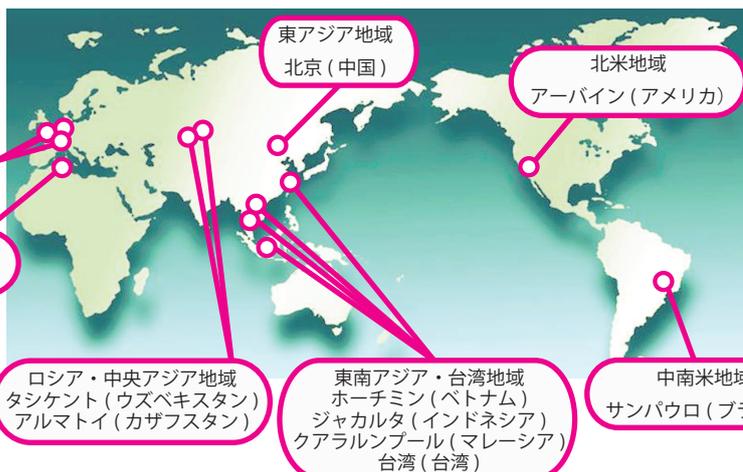


欧州地域

ボン（ドイツ）
グルノーブル（フランス）
ボルドー（フランス）

アフリカ地域

チュニス（チュニジア）



◇採用試験（国立大学法人等職員採用試験）

<採用予定数>

事務20名、電気1名、機械1名、建築1名、農学1名

<応募受付期間>

令和4年5月11日(水)10時00分～5月25日(水)17時00分

※国立大学法人等職員採用試験HPから申込みください。

<受験資格>

平成4年(1992年)4月2日以降に生まれた者

<第一次試験日>

令和4年7月3日(日)

※第二次試験日については筑波大学HP(<https://www.tsukuba.ac.jp/about/jobs-information/>)に後日掲載いたします。

<採用担当>

総務部人事課(事務系任用)

Address: 〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1

TEL : 029-853-2091 / 2090

E-mail : sj.ninyo2@un.tsukuba.ac.jp

※最新情報は、筑波大学HPや国立大学法人等職員採用試験HPをご確認ください。

※筑波大学では、このほかにも「民間企業等経験者からの登用試験」や「本学非常勤職員等からの常勤登用試験」を実施しております。

◇Q&A

Q. 採用前の研修や必要となる資格等がありますか？

A. 採用後、新規採用職員研修の他に、情報化研修や英会話研修など、業務の必要に応じて様々な研修が用意されていますので、採用前の研修は実施されていません。また採用前に必要な資格等もありません。

Q. 選考の際、県外在住であったり、筑波大学出身ではないことは不利になりますか？

A. 受験者の人柄や適性を総合的に判断して選考を行っていますので、そういったことが選考に影響することはありません。茨城県外や他大学出身の職員も数多く在籍しております。

Q. 勤務場所はつくばのみでしょうか？

A. 勤務場所は筑波キャンパスが中心となりますが、東京キャンパスや附属学校、共同研究施設等もあります。希望すれば海外拠点で勤務するチャンスもあります。

Q. 職場の状況や雰囲気について教えてください。

A. 男性と女性の比率は、約5：4です。また育児休業を取得する職員も多く、職場復帰後も多くの職員が活躍しています。職員は皆さん親切で、明るく活気あふれた働きやすい雰囲気です。

Q. 事務職員はデスクワーク中心の業務でしょうか？

A. デスクワークのみならず、他部署と連携をとって進めていく業務や、企業・他機関に訪問し、調整をしていく業務もありますので、大学内だけでなく、様々な人と関わることのできる職場です。

Q. 語学力は必要でしょうか？

A. 大学としてグローバル化を推進しているため、語学力が必要とされる機会は増えています。英会話研修など、語学力向上のための研修もあり、採用後語学力を伸ばす機会が用意されています。

Q. 勤務地や職務分野の希望を述べる機会はありますか？

A. 年に一度、書面による異動希望調査が実施されます。ただし、実際の異動は希望だけではなく、能力や適性等を踏まえて決定しますので、希望の部署に配属されるとは限りません。

参考資料

◇数字で見る筑波大学 (令和4年5月1日現在)

16,507(人) 総学生数 学群学生 9,631人 大学院生 6,876人	4,053(人) 11 附属学校児童・生徒数	2,226(人) 外国人留学生数
	190(社) 大学発ベンチャー 設立累計社数 【活動中の企業】159社	13,116,694(m²) 総敷地面積
8,864(人) 常勤教職員 5,484人 非常勤教職員 3,380人	3(人) ノーベル賞受賞者数	381(協定) 国際交流協定締結機関数 69カ国・地域の大学や研究機関等と CiC10協定、大学間交流173協定、 部局間交流198協定を締結
	95(個) オリンピック・パラリンピックのメダル獲得数 オリンピック 金メダル 6個・銀メダル 9個・銅メダル14個 パラリンピック 金メダル16個・銀メダル24個・銅メダル26個 (昭和48(1973)年以降に本学(附属学校含む)の学生(卒業生・修生を含む)、教職員が獲得した数)	

◇アクセス

筑波キャンパスへのアクセス

【電車】

・つくばエクスプレス
 「つくば」駅から関東鉄道バス「筑波大学中央」行き・
 「筑波大学循環バス(右回り・左回り)」に乗車(約15分)

・JR常磐線

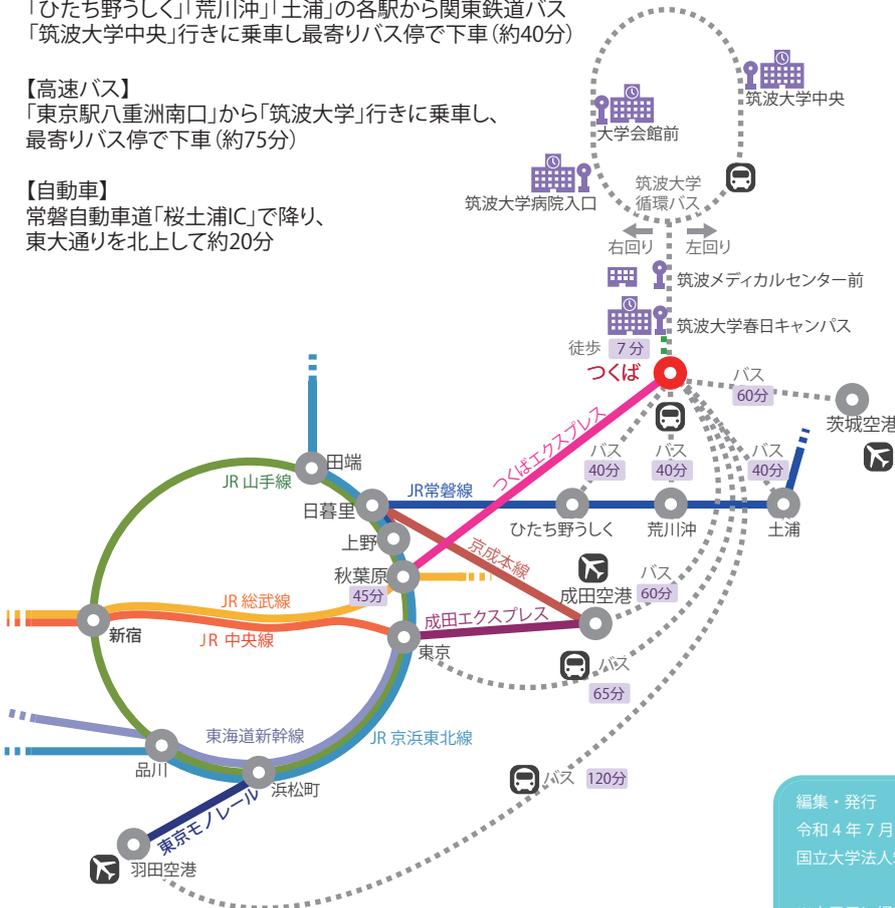
「ひたち野うしく」「荒川沖」「土浦」の各駅から関東鉄道バス
 「筑波大学中央」行きに乗車し最寄りバス停で下車(約40分)

【高速バス】

「東京駅八重洲南口」から「筑波大学」行きに乗車し、
 最寄りバス停で下車(約75分)

【自動車】

常磐自動車道「桜土浦IC」で降り、
 東大通りを北上して約20分



編集・発行
 令和4年7月1日発行
 国立大学法人筑波大学総務部人事課 若林、鯉淵

※本冊子に掲載の情報は、とくに注意書きの無い限り、令和4年5月現在のものです。
 ※業務紹介の写真は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に留意しながら一時的にマスクを外して撮影しております。



筑波大学

University of Tsukuba



国立大学法人筑波大学令和4年度職員採用案内
〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1

www.tsukuba.ac.jp